

第10回 関東小中学生選抜スポーツクライミング選手権大会 開催要項

1. 主 催 関東地区山岳連盟
2. 主 管 茨城県山岳連盟
3. 期 日 令和6年11月16日(土)
4. 会 場 鉾田市生涯学習館「とくしゅくの杜」スポーツクライミングセンター
茨城県鉾田市徳宿1261-1
5. セッター 沼尻琢磨(チーフ)・坂本裕樹
6. 参加資格 各都県山岳連盟または山岳・スポーツクライミング協会において選出された小学4年生～中学3年生
7. 競技種別 小学生男子、小学生女子、中学生男子、中学生女子
8. 定 員 各種別16名程度 計64名(種別毎2名を目安とし、各都県合計8名以内とする)
※参加に当たっては(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会の選手登録(B登録以上)を行うこと。
9. 競技形態 リード競技 予選:フラッシング方式2ルート、決勝:オンサイト方式1ルート
10. 競技スケジュール(予定)

時間	内容	備考
8:00～ 8:30	選手受付	開会式・競技説明
9:00～	開会式・競技説明	
9:30～	予選(2ルート同時進行)	予選(フラッシング2ルート)
13:00～13:30	決勝アイソオープン～アイソクローズ	
14:30～	決勝 選手紹介・オブザベーション	
15:00～	決勝(2ルート同時進行)	(オンサイト1ルート)
16:30～	表彰式・閉会式	

11. 競技規則 JMSCA スポーツクライミング競技規則 2024.4.11 改訂版に準ずる(一部異なる)。

12. 参加申込

- 1) 申込期間 令和6年10月25日(金)～ 11月 3日(日)
- 2) 提出書類 下表の書類を申込メールに添付して提出すること

様式1	参加登録申請書	
様式2	個人票	
様式3	コーチ・トレーナー 登録申請書	各都県を代表するコーチ及びトレーナー各1名のウォームアップルーム、アイレーションゾーン及びコーチエリアへの進入を認める。 また成績などに関する抗議の申し立てはコーチのみ可能とするため、各都県は必ずコーチの登録を行うこと。
様式4	個人持込ロープ仕様申告書	

3) 選手変更

当初の登録選手が何らかの事情で参加できなくなった時は、同種別の登録予備選手から交代選手を出場させることが出来る。変更にあたっては、大会当日受付時までメールまたは口頭で連絡のこと。

なお競技順公開後の選手変更時には、変更前選手の競技順を変更後選手の競技順とする。

13. 申込先・問い合わせ先

茨城県山岳連盟競技委員会 ibk.climbing@gmail.com

※個人情報の取り扱いについて、大会に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません

14. 分担金および参加料

- 1) 振り込み期間: 令和6年10月25日(金)～ 11月 3日(日)
- 2) 分担金: 50,000円(都県岳連(協会)。不参加の場合も納入する)
- 3) 参加料: 8,000円(選手1名あたり、保険料を含む)

※分担金及び参加料は指定口座に一括して振り込むこと。

※参加費振込期日以降にキャンセルした場合、返金はいたしませんのでご了解ください。

※振込手数料は、負担をお願いします。

【振込先】常陽銀行 水戸駅南支店 普通 1391179

茨城県山岳連盟会長 西内博(ニシウチヒロシ)

15. 各種お知らせ等

各種様式、競技順、参加者案内、デモンストレーションビデオ等は、下記のURLページにて公開致します。

https://drive.google.com/drive/folders/1_kF0dHoLr7kiqKaho6f5Z3Nd0xSc9C1i?usp=sharing



16. その他

- 1) 都県岳連旗一流を11月12日(火)までに以下へ送付すること。

茨城県鉾田市徳宿1261-1

鉾田市生涯学習館「とくしゅくの杜」スポーツクライミングセンター 1階 茨城県山岳連盟 宛

- 2) 競技に関する詳細事項は、様式1の連絡責任者へ送付する。
- 3) 令和6年11月11日(月)から大会受付開始時まで、選手及びその関係者が会場に立ち入ることを禁止する。
- 4) クライミングロープは選手個人のものを使用するので各自持参のこと。

使用可能なロープの仕様は、以下の通りとします。(6月30日付IF基準による)

「シングルでPSC、EN892、UIAAに適合していること。長さ40m以上、呼び径9.0mm～10.0mm」

なお以下に当てはまるロープは安全上問題がありますので使用できません。(国立登山研修所編 確保理論より)

- ・通常クライミングでは使用しない化学物質(酸、バッテリー電解液など)に触れたことがある。・外皮が激しく毛羽立っている、損傷している、ひどく汚れている、外皮と芯がずれている。
- ・摩擦による熱や火などの熱を受けたことがある。
- ・部分的に固くまたは柔らかくなったりして他の部分と違和感がある部位が生じている。
- ・長い墜落や落下係数1を超える墜落を受けた。

落下係数1を超える墜落とは:クライマーの墜落距離÷ヒレヤーとクライマー間のロープの長さ

クライマーが4m登ったところで4m墜落した場合、落下係数=4÷4=1となる

- ・毎週の使用で1年以上経過しているもの。
- ・月1～3回の使用で3年以上経過しているもの。